

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
1 (著書) 新版 エピソードでわかる 社会心理学-恋愛・友人・ 家族関係から学ぶ- 北樹 出版	共編 著	2020 年 4 月	北樹出版	著書の概要：私達の日常生活の中の恋愛関係や友人関係，家族関係をはじめとする親密な関係に起こりうるエピソードを社会心理学の視点から分析、解説。楽しくエピソードを読みながら、社会心理学の基礎理論を深く学べる書籍。編著：谷口淳一・西村太志・相馬敏彦・金政祐司 担当：新版にあたっては全般的な編集、4カ所の節の執筆、活用の手引きの執筆、全体構成などを行った。（総頁数 201）
2 (学術論文) 居住地の社会増減率と親 との居住距離が子育てに 関する評価に及ぼす影響	共著	2018 年 3 月	応用心理学研究 （日本応用心理 学会）	43(3), 277-278. (査読有) 子育てに関する評価に対して居住地の社会増減率というマクロ要因と、身近なサポート源となる自分または義理の親との居住距離というメゾ要因が影響を及ぼすことを示した。 著者：西村太志・古谷嘉一郎・長沼貴美 共同研究につき担当部分の抽出は不可能だが、責任著者として全体構成を行った。
3 (論文) 「攻撃的な人が不味い飲 み物を与えるとき——挑 発的行動と制御資源によ る影響」 パーソナリテ ィ研究	共著	2017 年 4 月	パーソナリティ 研究(日本パー ソナリティ心理 学会) （日本パーソ ナリティ心理 学会 2018 年度学 会賞 受賞論文）	26(1), 23-37 (査読有) 攻撃性の強い人はどのような相互作用状況でも攻撃的に振る舞うだろうか。先行研究は、親密な関係を対象に、攻撃性と攻撃行動との関連が、挑発的な行動がありかつ自己制御資源に乏しい場合に顕著となることを示している。大学生 64 名を対象とする相互作用実験を行った。参加者は攻撃性に関するアンケートに回答後、協調的もしくは非協調的な相手とテレビゲームを行った。その後注意資源を要する計数課題を行い、最後にゲームの相手に与えられることになる嫌悪的飲料の個数を選択した。階層的二項ロジスティック回帰分析の結果、制御資源が枯渇しやすく（制御課題に時間を要し）、かつ相手から挑発的行動（非協調的な相手）があった場合に、攻撃性は嫌悪的飲料の個数を予測した。これらの結果は、先行研究の知見が、親密な関係以外にも一般化可能であることを示している。 著者：相馬敏彦・西村太志・高垣小夏 共同研究につき担当部分の抽出は不可能だが計画の立案や実験実施、構成を主に行った。